

〈その一〉

バンクオー 何者だ、いや、人間かそれとも化生の者か。

マクベス えい、言わぬか、唄うことができるのなら物も言えよう。

魔女 はい、マクベス様、グラミスの領主様。

マクベス なに、わしを存じているのか？

魔女 はい、今宵からコーダの領主様。

マクベス なに、今宵からコーダの領主？

魔女 はい、やがてはスコットランドの王様。

マクベス ほざくな！ 戯言もほどほどにせい。

魔女 このようなめでたいお話に、なぜそのようにお怒りなされるのじゃ。

マクベス スコットランドの王様は、わが殿をおいて他にはおらぬ。

魔女 人間はおかしなものよ、自分の心の底をのぞくのが怖いのじゃ。

マクベス こやつ！

バンクオー （弓を引きしぼるマクベスを制して）待て待て、たとえこの者が化生の者であろうと、おぬしの矢先を胸にうけて、ただ戯言をもてあそぶとも思われぬ、いや、わしからとくと問いただしてみよう。（魔女に）これ、よく聞け、貴様には現

在の眼が見るように、未来のことが見えるのか。

魔女 はい、バンクオー様、今宵からはグラミスの領主様。

バンクオー なに、今宵からはグラミスの領主？ ……フム……それから先の所領

と位は？

魔女 あなたのご運はマクベス様より小さくて大きい。

バンクオー なに……それはどういう意味だ。

魔女 あなたのお子様はやがてスコットランドの王様。

〈その二〉

三木 何者だ、いや、人間かそれとも化生の者か。

鷲津 えい、言わぬか、唄うことができるのなら物も言えよう。

老婆 はい、鷲津武時様、一の砦の大将様。

鷺津 なに、わしを存じているのか？

老婆 はい、今宵から北の館たちのお殿様。

鷺津 なに、今宵から北の館の殿？

老婆 はい、やがては蜘蛛巣城のご城主様

鷺津 ほざくな！ 戯言ざれごともほどにせい。

老婆 このようなめでたいお話に、なぜそのようなにお怒りなさるのじゃ。

鷺津 蜘蛛巣城の主あるじは、わが殿をおいて他にはおらぬ。

老婆 人間はおかしなものよのう、自分の心の底をのぞくのが怖いのじゃ。

鷺津 こやつ！

三木 (弓を引きしぼる鷺津を制して) 待て待て、たとえこの者が化生の者であろうと、おぬしの矢先を胸にうけて、ただ戯言をもてあそぶとも思われぬ、いや、わしからとくと問いただしてみよう。(老婆に) これ、よく聞け、貴様には現在この眼めが見るように、未来のことが見えるのか。

老婆 はい、三木義明様みきよしあき、今宵からは一の砦の大将様。

三木 なに、今宵からは一の砦の大将？ ……フム……それから先の所領しよりょうと位くらゐは？

老婆 あなたのご運は鷺津様より小さくて大きい。

三木 なに……それはどういう意味だ。

老婆 あなたのお子様はやがて蜘蛛巣城のご城主様。

〈その三〉

マクベス 口をきけ、できるものなら。いったい何者だ、貴様は？

魔女 よう戻られた、マクベス殿！ お祝い申しあげますぞ、グラミスの領主様！

マクベス ぬ……？

魔女 よう戻られた、マクベス殿！ お祝い申しあげますぞ、コーダの領主様！

マクベス む……！

魔女 よう戻られた、マクベス殿！ いずれはスコットランド王ともなられるお方！

バンクオー (唾然とするマクベスに) どうしたのだ、なぜ驚く、これほどよい預言に、そのさまは？ (魔女に) おい、答えろ、貴様は、ただの幻か、それとも見ゆるとおりのものか？ 見ろ、友達は、いま、貴様に現在の身分で呼びかけられ、

そのうえ、思いがけぬ栄進と未来の王位まで約束されて、すっかり呆然ぼうぜんとしている。

わしには、何も言わぬな。もし貴様に、時の苗床なえどしを見とおし、芽をだす種と朽ちる

種との見わけがつかなら、さあ、言ってみろ、ねだりも恐れもしない男だ、ひいきにしようと思おうと、勝手にするがよい。

魔女 よう戻られた！ マクベス殿よりは小さくて、ずっと大きなおひとだ。

バンクオー ぬ……？

魔女 よう戻られた！ それほどの運も無いが、ずっと幸運なおひとだぞ。

バンクオー む……！

魔女 よう戻られた！ 子孫がスコットランドの王になる、自分がならんでもなさ、よう戻られた、マクベス殿にバンクオー殿！

〈その四〉

鷲津 口をきけ、できるものなら。いったい何者だ、貴様は？

老婆 よう戻られた、鷲津武時殿！ お祝い申しあげますぞ、一いちの砦とりでの大將様！

鷲津 ぬ……？

老婆 よう戻られた、鷲津殿！ お祝い申しあげますぞ、北の館たちのお殿様！

鷲津 む……！

老婆 よう戻られた、鷲津殿！ いずれは蜘蛛巣城のご城主！

三木 (啞然とする鷲津に) どうしたのだ、なぜ驚く、これほどよい預言に、そのさまは？ (老婆に) おい、答えろ、貴様は、ただの幻か、それとも見ゆるとおりのものか？ 見ろ、友達は、いま、貴様に現在の身分で呼びかけられ、そのうえ、

思いがけぬ栄進と未来の王位まで約束されて、すっかり呆然ほうぜんとしている。わしには、

何も言わぬな。もし貴様に、時の苗床なえどこを見とおし、芽をだす種と朽ちる種との見わけがつかなら、さあ、言ってみろ、ねだりも恐れもしない男だ、ひいきにしようと思おうと、勝手にするがよい。

老婆 よう戻られた！ 鷲津殿よりは小さくて、ずっと大きなおひとだ。

三木 ぬ……？

老婆 よう戻られた！ それほどの運も無いが、ずっと幸運なおひとだぞ。

三木 む……！

老婆 よう戻られた！ 子孫が蜘蛛巣城のご城主になる、自分がならんでもなさ、よう戻られた、鷲津殿に三木殿！